

# 赤川砂防だよい

みんなで防ごう土砂災害

発行：新庄河川事務所  
赤川砂防出張所

国土交通省

第128号：令和4年9月

## キャンプ砂防2022in月山

9月5日から9日にかけて、『キャンプ砂防2022in月山』が新庄河川事務所主催で3年ぶりに行われました。9月7日は当出張所管内の十座沢砂防堰堤整備工事の現場と田麦俣地区の多層民家を大学生4名が訪れ、ICT技術や地域文化について学びました。



十座沢砂防堰堤

↑出張所長から  
事業概要の説明



↑ICT対応バック  
ホウの操作体験

→堰堤の上に登っ  
て上から現場を見  
渡しました!



↓現場代理人さん  
に質問が飛びます



若手職員・若手現場技術  
者の方と働き方等について  
意見交換もしました。



### キャンプ砂防 とは?



レド君

土木技術者をを目指す大学生を対象に、現場体験や中山間地域での生活体験を通じ、砂防の役割と砂防事業について理解を深めていただくことを目的に、平成8年度から実施しています。

### 多層民家(旧藤家住宅) 県指定有形文化財



管理人の  
渋谷さん

↑初めて知る  
道具が多く、当  
時の時代背景  
と生活の様子  
を興味深く聞  
いていました



## 環境に配慮した工事を行っています

「赤川流域鱒沢第1砂防堰堤改築工事」の現場では、燃費低減型クーリングシステムを搭載した油圧ショベル(バックホウ)を使用しています。これは、エンジンを冷やすファンの回転を低減することで燃料消費量が抑えられ、省資源・省エネが図れます。

また、ディーゼルエンジン車から出る排気ガスをキレイにするために、AdBlue(アドブルー)という高品位尿素水を使い、有害な物質と科学反応を起こして無害化してから排出しています。



「AdBlue」とは

一部ディーゼルエンジン車に搭載されている、有害な排出ガスを浄化する『尿素SCRシステム』で使用される無色無臭の液体です。

以前はアンモニア(可燃性)を使用していましたが、安全に搭載できるアドブルーが採用されるようになりました。

# 赤川砂防出張所 第1回安全パトロールを実施しました

8/22、赤川砂防出張所管内の工事現場を対象に、安全施工と労働災害の未然防止を目的とした安全パトロールを実施しました。

今回は受注業者を含む14名で点検を行い、現場の状況や安全管理体制について確認しました。



点検の様子



隅々までチェック



講評

今回の点検結果を反映させ、安全第一に工事を進めていきましょう!

## 新規工事のお知らせ いわすげさわ **赤川流域岩菅沢地区工事用道路工事**



工期: R4年 8月10日～  
R4年11月30日  
施工業者: 升川建設(株)  
現場代理人: 齋藤 義美



今回の工事は、岩菅沢地区の工事用道路他上大針地区、上田沢地区でも行います。  
各地区の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますが安全を第一に作業をおこないますのでご理解とご協力お願い申し上げます。

- 工事内容●
- ①【岩菅沢地区】堰堤を造るための工事用道路を造ります。
  - ②【上田沢地区】砂防堰堤上流に溜まった土砂を撤去・運搬します。
  - ③【上大針地区】\*擁壁(ようへき)の補強工事を行います。  
※斜面の土が崩れるのを防ぐために設けるコンクリートやブロックの壁のこと

### 県内で大雨による災害が発生

8月上旬の記録的な大雨によって、災害が多発した置賜地域へ土砂災害の発生危険度について調査を行うため、8月8日から10日まで新庄河川事務所の職員を **TEC-FORCE (緊急対策派遣隊)** として現地に派遣しました。  
赤川流域では大きな被害はありませんでしたが、時間雨量が41mmを観測(蘇岡雨量観測所)し、東大鳥川砂防堰堤においては土砂や流木を含む泥水が高さ14.5mの堤体を越える様子が確認されました。  
下流の水位が低くても、上流で水位が上昇し災害が発生する可能性があります。新庄河川事務所のHPから河川の状況をライブカメラで確認することができますので、避難情報の一つとしてご活用下さい。

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 赤川砂防出張所  
〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合227  
TEL: 0235(53)2841 FAX: 0235(53)2807

●HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>  
●公式Twitterもぜひご覧ください。『新庄河川』で検索!  
\*ご覧いただいたご意見、ご感想をお寄せ下さい\*

産直 あさひグー

赤川砂防出張所

駐在所 消防署 あさひ小学校 鶴岡市朝日庁舎

QRコードはこちら

まもる君